

①「稚児舞楽」は静岡市葵区にあった建穂寺(たきょうじ=明治初年廃寺)を調べ、地元に伝わる技術系渡来人の歴史を考察せよ。

② 古来疫病の流行の際、日本ではどのような祭祀が催されたのかを調べ、疫病退散の信仰形態を考察せよ。

③【国記録選択無形民俗文化財】を継承する意義を考察せよ。

稚児舞楽を奉納する稚児



静岡市葵区の静岡浅間神社

伝統の「稚児舞楽」奉納

静岡浅間神社 小学生4人が参加
廿日会祭

静岡市葵区の静岡浅間神社で5日、廿日会祭(つかえさい)の神事が執り行われ、国記録選択無形民俗文化財の「稚児舞楽」が奉納された。

コロナ終息の祈りも

稚児を務めたのは、披露した。

市内の小学生の市川日陽君(服織小6年)、市川煌挺君(葵小6年)、市川雄大君(服織小4年)、大塩裕稀君(安西小4年)。4人は、山吹や桜を飾った冠と稚児衣装をまとい、天下泰平や五穀豊穰(ほうじょう)、疫病退散を祈る5演目を

廿日会祭は「鎮花祭(ちんかさい)」ともいわれ、桜の花が散るときに流行した疫病を鎮める「花鎮め」に由来する祭りとも言われている。同神社の福島麗司権禰宣(れんねぎ)は「廿日会祭の祝詞には新型コロナウイルスの早期終息の祈りも込められた。穏やかな日常が戻ることを願っている」と話した。

(写真部・二神亨)

2020年4月6日 朝刊 中部版

※解答欄が足りない場合は、ワークシート裏面に書くこと

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 実石 克巳(静岡県立静岡高校 教諭)

(高校/国語)

<参考>①=古代史学・文化史学・民俗学に関する問題、②=歴史学・民俗学・宗教学に関する問題、③=民族学・文化人類学・文化史学に関する問題